

2018年2月16日

町田市長 石坂 丈一 様

熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会
委員長 永井 進

「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（案）」の策定について（報告）（案）

2017年5月18日から、熱回収施設等の建設に伴い、最終処分場等の上部を活用したスポーツ施設などの公園等の整備および町田市立室内プール敷地内駐車場における新たな熱回収施設の熱エネルギーを活用した健康増進温浴施設の整備を実施するにあたり、その基本的な考え方となる基本構想案を策定することを目的に、当検討委員会で慎重に議論を重ねてまいりました。

このたび、別紙のとおりまとめましたので、報告いたします。

本基本構想案につきましては、2015年3月に「町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会」から、地域の自然環境を活かしながら「健康・交流のまち」を目指すとして提出された「忠生地域・バリューアッププラン」の趣旨を受け止め、2017年1月から3月にかけて行われた地域住民参加による「町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ」の検討成果を踏まえて検討しました。

当該施設整備全体のコンセプトについては、「地域の自然環境を活かした、健康・交流の場づくり」をかかげ、上部公園の整備は「さまざまな世代が憩い、体力づくりもできる広場」、また健康増進温浴施設の整備には「憩いと健康を育む、多世代ふれあいの湯」と、各々整備におけるコンセプトも設定しました。

これらのコンセプトを基に、当検討委員会において、周辺の緑や尾根緑道などの自然資源や、隣接する新たな熱回収施設や、町田市立室内プールなどの公共施設や既存の道路とのネットワークを図りながら、効果的な活用が図れるように検討してきました。

この基本構想案は、熱回収施設等の周辺の整備を行うための基本的な考えを示したものです。市と周辺地域の方々と協働で、魅力ある周辺のまちづくりを進めるために、先行して整備を行う池の辺地区はもとより、峠谷地区、旧埋立地の整備も着実に進められることを望みます。